

OSAKA BOILER

TECHNICAL INFORMATION

株式会社 大阪ボイラー製作所

フラッシュバック事故の防止について

2007年11月にATSB (Australian Transport Safety Bureau) より発行されましたフラッシュバック事故のレポートに関しまして、下記の通り事故防止対策のご報告をさせていただきます。

* 事故の内容につきましては、ATSB のレポートをご参照下さい。

http://www.atsb.gov.au/publications/investigation_reports/2007/MAIR/pdf/mair238_001.pdf

記

此の度はユーザ各位に種々ご心配をお掛け致しまして申し訳御座いません。

VJ型油圧噴霧式バーナを搭載した弊社製ボイラ 0EVC2 型におきまして、バーナ点検整備中にフラッシュバックが発生し、点検カバー開口部から吹き出した熱風により乗組員が火傷を負うという事故が発生しました。

ATSB の調査の結果、この事故は下記経緯を辿って発生したと考えられます。

- 1) 乗組員が定期整備を終え、点火確認をするために手動にて点火操作を行ったが、点火しなかった。
- 2) その後手動で点火操作を繰り返し行ったが何れも点火せず、炉内に相当量の未燃油が入った。
- 3) 炉内に相当量の未燃油が滞留した状態の中で、乗組員がバーナを再度整備するために炉内パージを行い、点検カバーを開けた。
- 4) この時、気化された炉内の未燃油が新鮮な空気と触れ、フラッシュバックが発生し、熱風が吹き出した。
- 5) その後1時間炉内パージを行った後、点検のためバーナユニットを外した時、2回目のフラッシュバックが発生した。

以上の経緯を踏まえ、VJ型バーナ及びVJP型バーナを搭載した弊社製ボイラ（補助ボイラ及びコンポジットボイラ）をご使用頂いておりますユーザ各位には、船主殿、船舶管理会社殿、パーツサプライヤ殿等を介して取り扱いに関する「注意銘板」及びお取り扱い時の「安全手順書」を各船へ送付し、事故防止に関する注意喚起を致しました。もし、未だ届いていない、もしくは追加のご要望がございましたら、弊社またはボルカノ社までご連絡頂きますようお願い致します。

* 注意銘板及び安全手順書につきましては、ボルカノ社のHPをご参照下さい。

<http://www.volcano.co.jp/service-news.html>

なお、ATSB 発行レポートに記載されている弊社製 0EVC2 型コンポジットボイラは、火炉や炉底耐火材も含め全て一般的な構造をしており、弊社のみの特異な構造ではありません。他ボイラメーカー殿も同様な構造の製品を有しており、此の度のフラッシュバック事故は弊社製ボイラ固有の事故では無いことを申し添えておきます。

以上